

新連載
第1回

教師としての視野を広げる! 世界の日本人学校 マンスリーレポート

グローバルな現代社会。教室には、海外につながる子供たちも少なくありません!
教師としての国際感覚を磨くため、海外の日本人学校のようすを毎月レポートします。

在外教育施設について

海外で日本の教育を受けることのできる教育施設で、「日本人学校」「補習授業校」等があります。現在、保護者の勤務の都合等で海外に滞在している日本の子どもたちは約8万3000人。このうち、約4万1000人が在外教育施設で学んでいます。

池田 由美(いけだ・ゆみ)

2015年～2017年北京日本人学校にて学校採用教員として勤務。中学部副担任。主として中学部で国語・英語を担当し、また英会話補助、体育TTなども勤めた。



1 赴任したきっかけを教えてください

学生の頃から海外での勤務に興味があったことや、友人の中に日本人学校出身者がいたことから、将来は在外教育施設へ派遣されることを目標に教員採用試験を受験していました。当時は文部科学省派遣教員制度しか知りませんでしたが、日本国内で常勤講師を何年か経験した後に教員仲間から日本人学校の学校採用教員のことを聞き、すぐに「海外子女教育振興財団(JOES)」を検索しました。その年の第2期募集に応募し、複数の学校と面接をさせていただいた結果、北京日本人学校へ採用され赴任しました。



住んでいた公舎

2 学校の概要を教えてください

北京日本人学校は現在小中学部合わせて約370名の児童生徒が在籍しており、2016年には学校創立40周年を迎えました。最近、グラウンドは人工芝となり、教室にはインタラクティブホワイトボードも導入されました。子ども達は互いに思いやることのできる素直な子が多く、たてわり班活動が活発なので学年の壁がなく仲が良かったです。毎月歓送迎式があるくらい転出入が多いのですが、転入生を温かく受け入れる雰囲気があるため、子ども達はすぐにクラスに馴染むことができます。



校門には24時間警備員が常駐

教セミEXTRA

海外で働く 学校採用教員Q&A

Q1 学校採用教員とはどんな教員ですか?

A1 文部科学省から派遣される教員以外で学校が直接採用しなければならない教員のうち、JOESの雇用支援を通して採用される教員を指します。

Q2 日本人学校・補習授業校とはどんな学校ですか?

A2 日本人学校は日本の学習指導要領に沿ったカリキュラムで授業を実施している全日制の教育施設で、アジアを中心に、全世界に89校あります。補習授業校は現地校や国際学校(インターナショナルスクール)等に通学しながら、土曜日や放課後を使って国語等を学ぶ教育施設で、全世界に221校あります。

海外子女教育振興財団

海外子女教育振興財団(Japan Overseas Educational Services=JOES)は、1971年に外務省及び文部省(現文部科学省)の共管の財団法人として設立され、2011年には内閣府の認可を受け公益財団法人となりました。設立以来、海外子女・帰国子女教育の振興を図るため幅広い事業を実施しており、学校採用教員の雇用支援もその一環として行っています。

日本人学校等学校採用教員雇用支援、「学校採用教員レポート」などについて、詳しくはこちらから<http://www.joes.or.jp>



3 この国の学校ならではの!という特徴は何ですか?

運動会にカンフーを取り入れたり、芸術鑑賞会で中国雑技団の演目を鑑賞したりしました。また、中学部では第一外国語として日本語を学習している現地校との交流を行っており、日中弁論大会を毎年実施していました。日本人学校の生徒は中国語、逆に現地校の生徒は日本語でそれぞれの代表者が弁論を行い、その後、全生徒がグループに分かれて交流をしました。お互いの文化等を紹介しあう中で、共通の趣味を見つけて盛り上がるグループもありました。



現地校の運動会にも参加

4 学校で勤務した感想を教えてください

最初に感じたのは、「素直で人懐こい子どもが多い!」でした。また、学力が高い子どもが多い反面、そうでない子どももいるため、どのレベルにあわせて授業をするかということが難しい課題でした。また、国語・英語の主要2教科を担当したため、初年度は授業準備等に時間を要することがありましたが、特に2年目は同じ学年で両方の教科を担当したこともあり、目標作りなど相互でリンクするものはそれぞれの授業に活用していました。これは日本では経験できなかったことだと思います。また、英会話担当として小学部の授業に関わったり掃除区域やたてわり班活動で小学部と関わる中で、小学部の先生方の子どもに対する接し方や考え方を見たり聞いたりできたことで、中学生の指導にも生かすことができ、得難い経験となりました。



国語のパネルディスカッション

5 教え子が帰国したとき、日本の先生方に伝えたい伝達事項は何ですか?

日本人学校の児童生徒は異なった環境で育った友達を思いやれる優しい子どもが多いのが特徴です。一方現地生活が長い子どもについては現地の文化が身につけていることがあり、ときには日本では非常識と思える行動をとったり発言をしたりすることがあるかもしれません。日本人学校でも日本の文化やマナー等を指導していますが、十分でないこともあるかと思います。文化の違う所に長年住んでいたその子にとって、その行動等は「普通」なのかもしれません。そのような時にはまずその理由を聞き、日本ではどのようなしたら適当であるかを教えていただければと思います。



たてわり班遠足では中3と小1がペアになる班も